

## 「子どもはみんな天才」

こんにちは。園長です。  
今年ももう12月ですね。

ライオンの子保育園の園児達も今日も元気にお歌を歌ったり、お友達とかけっこをしたり、ねんこをこねたり、らくがきを楽しんだりしたあと、スヤスヤとお昼寝の時間になっています。さて、今週の土曜日はいよいよライオンの子保育園の年末の目玉です「あそびの天才展ジャングルの森の大冒険」が開催されます。お家でお話しながらこの「あそびの天才展」のねらいは、先生やお友達と一緒に、自由に、自由に制作することに尽きます。面白いですよ。いろいろな表情を見せてくれますよ。そうなんです、子どもはみんな天才なんです。できた、できなかったではなく、その子なりの自由な発想は、もう誰も真似出来ないんです。そう、一人ひとりが天才なんです。



ライオンの子保育園の保育の柱、モンテッソーリ教育の大きな意義でもあります。まずは、許して見届けてみよう、と。そうするといろんな個性が光ってきますよ。そうして育った子どもは感性を解放し、想像力を無限大にまで広げる事を恐れなくなっていくます。言葉にも豊かな優しさや、するどい視点を見せるようになっていきます。

逆になんでも禁止をされながら育った子どもは、見た目は良い子かもしれないですが、失敗を恐れるようになり、「両親の目が気になつてしまい、せつかくの知的好奇心や探求心、想像力がおさえられてしまうそうです。「しつけ」と「教育」というのは、同じようで違います。外で困らないように、愛されるように、言葉使いや礼儀作法、などの生活力、これは保護者の皆さんでしか成し得ない大切なしつけです。そして、その上になり立つのが教育です。知識を中心に、教育はいつでも大切なものです。

しかし、幼児期はその知識をこれから蓄えていくうえで一番大切な心を育てることが一番大切だと言えるでしょう。そしてそのヒントはまさに、「遊び」の中に多く隠れています。たくさんたくさん遊べる子どもは、お友達や先生とのやり取りを通じ、触れていく中で多くの学びを得ています。一人でできる自信を得たいと望んでいます。たくさん遊びの中で得た自信は間違いなく、その子の個性を光らせ、笑顔をつくり、みんなに愛される子どもになると私は信じています。

我が子の笑顔、可愛い笑顔、みんなであつていきましようね。

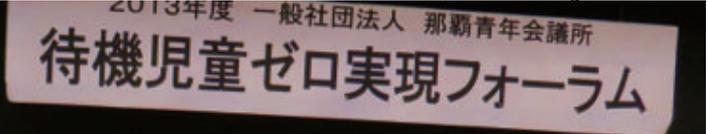


# ザ・あそびの天才展

去った十一月二十九日に、

「待機児童ゼロ実現フォーラム」が県立博物館美術館講堂で開かれ、横浜市長や那覇市長らと共に、私もパネリストとして出演致しました。保育に関わっている身としてもそうですが、一番大事なのは、一人の大人として子どもたちの未来に何を残していくべきかという想いです。安心して遊べて、安心して暮らす事、安心して夢をどこまでも追いかける未来の沖繩を、私は一人の大人として何か少しでも力になれるように日々勉強をしています。

ライオン組、ぞう組、マングース組の演舞や歌に、会場からは大きな拍手が沸き起こっていました。心で育つ保育現場のあり方を、沖繩にももつともつと根付く未来が訪れ、誰ひとりとして寂しい想いをする子がないようなそんな地域社会を、子どもたちのために創つていかなければならないと決意新たにしました。ご来場頂いた皆様には感謝致します。



園長先生が贈るお便り。日々の育児のささやかな参考になれば…。

## 園長先生の森

ライオンの子保育園の保育目標

私たちは

1. 愛するところ
  2. あきらめないところ
  3. 感謝するところ
- を育てます。

\*発行者:末広尚希

ライオンの子保育園 園長

\*園長先生と育児、教育相談、なんでもOK!  
面談希望は随時受け付けています。(予約制)

